



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社 村上開明堂 上場取引所 東  
コード番号 7292 URL <https://www.murakami-kaimeido.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画本部所管 (氏名) 長谷川 猛 TEL 054-253-1876  
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	51,665	17.4	4,060	70.6	4,601	64.3	2,863	11.7
2023年3月期第2四半期	44,003	22.4	2,379	△9.0	2,800	△6.4	2,563	30.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 7,106百万円 (3.1%) 2023年3月期第2四半期 6,892百万円 (79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	235.74	—
2023年3月期第2四半期	207.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	108,222	84,264	75.1	6,817.21
2023年3月期	100,359	79,027	75.8	6,260.36

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 81,268百万円 2023年3月期 76,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	44.00	—	40.00	84.00
2024年3月期	—	70.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正につきましては、本日（2023年11月8日）公表いたしました「通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	19.1	7,800	39.7	9,200	43.3	6,000	11.7	493.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2023年11月8日）公表いたしました「通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	13,100,000株	2023年3月期	13,100,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,178,990株	2023年3月期	942,704株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	12,146,166株	2023年3月期2Q	12,380,362株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体部品不足等に起因する自動車メーカーの減産影響が縮小し、自動車用バックミラー等の売上が増加した結果、売上高は51,665百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて7,661百万円（17.4%）の増加となりました。

営業利益は、日本、北米、タイ、インドネシアにおける売上高の増加により4,060百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて1,680百万円（70.6%）の増加となりました。経常利益は4,601百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて1,800百万円（64.3%）の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2,863百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて299百万円（11.7%）の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①日本

半導体部品不足等に起因する自動車メーカーの減産影響が縮小し、自動車用バックミラー等の売上が増加した結果、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて4,380百万円（20.7%）増加し、25,590百万円となりました。営業利益は、材料費比率の上昇影響（仕入価格高騰や輸入部品の円安影響等を含む）を受けたものの、売上高の増加により1,636百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて891百万円（119.7%）の増加となりました。

#### ②アジア

中国国内における景気下降の影響を受けたものの、タイ、インドネシアの自動車用バックミラーの販売数量が増加した結果、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて1,057百万円（7.7%）増加し、14,737百万円となりました。営業利益は、1,841百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて548百万円（42.4%）の増加となりました。これは、主にタイ、インドネシアにおける売上高増加や、中国においては、前第2四半期連結累計期間に発生した上海ロックダウンの影響による材料費、物流費等の負担増が無くなったことによるものであります。

#### ③北米

米国及びメキシコにおける自動車用バックミラーの販売数量増加や為替換算上の影響により、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて2,223百万円（24.4%）増加し、11,337百万円となりました。営業利益は、メキシコにおける売上高の増加や、米国における労務費、物流費の減少等により340百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて178百万円（110.6%）の増加となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、108,222百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,862百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が4,261百万円増加、受取手形及び売掛金が2,209百万円増加、商品及び製品が283百万円減少、仕掛品が378百万円減少、原材料及び貯蔵品が68百万円減少、有形固定資産が844百万円増加したことなどによるものであります。

負債の残高は、23,957百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,625百万円増加いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が993百万円増加、電子記録債務が378百万円増加、未払法人税等が497百万円増加、賞与引当金が360百万円増加、退職給付に係る負債が149百万円増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は、84,264百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,237百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が2,375百万円増加、純資産の控除項目である自己株式が747百万円増加、為替換算調整勘定が2,911百万円増加、その他有価証券評価差額金が641百万円増加したことなどによるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました予想値を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月8日）公表いたしました「通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,467	43,729
受取手形及び売掛金	14,304	16,513
電子記録債権	1,273	1,304
商品及び製品	1,629	1,346
仕掛品	1,831	1,452
原材料及び貯蔵品	6,524	6,456
その他	1,914	2,167
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	66,929	72,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,067	21,777
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,746	△12,328
建物及び構築物（純額）	9,320	9,448
機械装置及び運搬具	32,233	34,152
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,450	△27,960
機械装置及び運搬具（純額）	5,783	6,191
工具、器具及び備品	28,159	29,311
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,337	△27,430
工具、器具及び備品（純額）	1,821	1,880
土地	5,832	5,950
リース資産	272	299
減価償却累計額及び減損損失累計額	△238	△254
リース資産（純額）	34	45
建設仮勘定	1,410	1,532
有形固定資産合計	24,204	25,048
無形固定資産	1,360	1,292
投資その他の資産		
投資有価証券	3,993	4,874
投資不動産	1,843	1,843
減価償却累計額及び減損損失累計額	△349	△352
投資不動産（純額）	1,493	1,491
退職給付に係る資産	746	758
繰延税金資産	780	892
その他	851	902
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,865	8,921
固定資産合計	33,430	35,262
資産合計	100,359	108,222

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,891	10,885
電子記録債務	2,307	2,685
1年内返済予定の長期借入金	1,600	1,600
未払法人税等	750	1,248
製品保証引当金	256	280
賞与引当金	1,023	1,384
役員賞与引当金	31	30
その他	3,635	3,727
流動負債合計	19,497	21,842
固定負債		
繰延税金負債	328	509
役員退職慰労引当金	391	329
退職給付に係る負債	995	1,144
資産除去債務	49	49
その他	71	83
固定負債合計	1,835	2,115
負債合計	21,332	23,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,165	3,165
資本剰余金	3,435	3,426
利益剰余金	66,094	68,470
自己株式	△2,088	△2,835
株主資本合計	70,607	72,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,249	1,890
為替換算調整勘定	4,052	6,963
退職給付に係る調整累計額	200	186
その他の包括利益累計額合計	5,502	9,040
非支配株主持分	2,918	2,996
純資産合計	79,027	84,264
負債純資産合計	100,359	108,222

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
売上高	44,003	51,665
売上原価	38,022	43,767
売上総利益	5,980	7,897
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	415	459
役員報酬	163	175
従業員給料	1,082	1,108
賞与引当金繰入額	320	321
役員賞与引当金繰入額	31	30
退職給付費用	9	19
福利厚生費	282	290
旅費交通費及び通信費	96	111
減価償却費	216	211
その他	982	1,107
販売費及び一般管理費合計	3,601	3,836
営業利益	2,379	4,060
営業外収益		
受取利息	83	96
受取配当金	50	51
受取地代家賃	64	69
受取ロイヤリティー	96	121
為替差益	81	—
助成金収入	10	44
開発業務受託料	11	172
その他	65	61
営業外収益合計	462	616
営業外費用		
支払利息	2	3
賃貸費用	22	19
為替差損	—	41
その他	16	11
営業外費用合計	41	75
経常利益	2,800	4,601
特別利益		
固定資産売却益	3	87
負ののれん発生益	921	—
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	925	98
特別損失		
固定資産処分損	14	29
特別損失合計	14	29
税金等調整前四半期純利益	3,710	4,670
法人税等	714	1,332
四半期純利益	2,996	3,337
非支配株主に帰属する四半期純利益	432	474
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,563	2,863

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	2,996	3,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△258	641
為替換算調整勘定	4,173	3,141
退職給付に係る調整額	△19	△13
その他の包括利益合計	3,895	3,769
四半期包括利益	6,892	7,106
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,185	6,402
非支配株主に係る四半期包括利益	706	704



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	21,210	13,679	9,113	44,003	—	44,003
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,210	13,679	9,113	44,003	—	44,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,115	1,182	44	2,342	—	2,342
計	22,326	14,861	9,158	46,345	—	46,345
セグメント利益	745	1,292	161	2,199	—	2,199

（注） 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国、インドネシア

北米：米国、メキシコ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,199
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	529
全社費用（注）	△349
四半期連結損益計算書の営業利益	2,379

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

「日本」セグメントにおいて、事業の譲受及び株式会社村上開明堂東日本の株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間において921百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	25,590	14,737	11,337	51,665	—	51,665
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	25,590	14,737	11,337	51,665	—	51,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,287	1,304	0	2,591	—	2,591
計	26,878	16,041	11,337	54,256	—	54,256
セグメント利益	1,636	1,841	340	3,817	—	3,817

（注） 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国、インドネシア

北米：米国、メキシコ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,817
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	553
全社費用（注）	△311
四半期連結損益計算書の営業利益	4,060

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。